

科目名	高齢者看護学特論Ⅱ			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (高齢者看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎教授 上野公子						
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	自己の研究課題に関連する先行研究文献および学際的文献のレビューを行い、研究課題の焦点化と研究の意義を明確にするとともに、用いるデータ収集や分析方法等含む研究デザインの検討を行う。						
授業の到達目標	①自己の研究課題に関連する先行研究文献および学際的文献のレビューを行う。②焦点化した自己の研究課題に取り組む意義を明らかにできる。③高齢者看護学に寄与する研究デザインの検討ができる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	1	上野 公子	教授		講義の進め方を他者に伝達できる。		
	2	上野 公子	教授		自己の関心領域について説明できる。		
	3	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献を検索できる。		
	4	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献を検索できる。		
	5	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献をクリティークできる。		
	6	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献をクリティークできる。		
	7	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献をクリティークできる。		
	8	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献をクリティークできる。		
	9	上野 公子	教授		自己の関心領域に関連する先行および学際的研究の文献をクリティークできる。		
	10	上野 公子	教授		自己の研究課題の本質を見極め、現実的に可能な課題レベルを決定することができる。		
	11	上野 公子	教授		自己の研究課題の本質を見極め、現実的に可能な課題レベルを決定することができる。		
	12	上野 公子	教授		研究課題に関する適切かつ実践可能な研究デザインの検討ができる。		
	13	上野 公子	教授		研究課題に関する適切かつ実践可能な研究デザインの検討ができる。		
	14	上野 公子	教授		自己の研究課題についてレポートとして記述できる。		
15	上野 公子	教授		自己の研究課題をレポートとしてまとめ、提出できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	関連文献レビューの内容をまとめ、授業に臨むこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。						
参考書	特に定めない。						
成績評価の方法および基準	作成資料30%、プレゼンテーション及びディスカッション40%、課題レポート30%で評価する。						
その他履修上の注意事項	担当教員と積極的にコンタクトを取ること。 課題レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						